

3:14 また、ラオディキアにある教会の御使いに書き送れ。『アーメンである方、確かに真実な証人、神による創造の源である方がこう言われる——。

3:15 わたしはあなたの行いを知っている。あなたは冷たくもなく、熱くもない。むしろ、冷たいか熱いかであってほしい。

3:16 そのように、あなたは生ぬるく、熱くも冷たくもないので、わたしは口からあなたを吐き出す。

3:17 あなたは、自分は富んでいる、豊かになった、足りないものは何もないと言っているが、実はみじめで、哀れで、貧しくて、盲目で、裸であることが分かっていない。

3:18 わたしはあなたに忠告する。豊かな者となるために、火で精錬された金をわたしから買い、あなたの裸の恥をあらわにしないために着る白い衣を買い、目が見えるようになるために目に塗る目薬を買いなさい。

3:19 わたしは愛する者をみな、叱ったり懲らしめたりする。だから熱心になって悔い改めなさい。

3:20 見よ、わたしは戸の外に立ってたたいている。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしはその人のところに入って彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。

3:21 勝利を得る者を、わたしとともにわたしの座に着かせる。それは、わたしが勝利を得て、わたしの父とともに父の御座に着いたのと同じである。

3:22 耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。』」

ラオデキアの教会に対しては、何の褒めることばありません。そのような教会とは、すなわち「なまぬるい」教会です。富んでいて、見えていて「乏しいものは何もない」と自負していても、その信仰は、神様が「吐き出」したくなるようなものでした。

確かにこの世の価値観と妥協して、教会らしくないやり方をすれば、人も集まり収入も増えて、教会が富んでいるように見せかけることも可能かもしれません。しかし、主から吐き出されるようにして見捨てられてしまったら、教会はすぐにも衰退し「みじめで、哀れ」なものになってしまうのです。なまぬるさとは神なき価値観との妥協の産物です。

私たちがすべきことは（どの教会も同じ警告を受けていると思われませんが）、金のように不変の価値観を得ることです。また裸の恥を現さないために主の十字架のきよめを着ることです。そして何が主のみこころかをしっかりと見ることのできる、目薬である聖書と聖霊に従うことです。

もしも主から「しかったり、懲らしめたり」というような試練を受けたなら、それは主の「愛する者」だいう証拠です。なまぬるい状態から離れて「熱心に」悔い改め、すなわち方向転換をしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

